

令和2年度 八洲学園大学国際高等学校事業計画書

1. 施設の概要

(1) 所在地

学校名	所有区分	郵便番号	学校（会場）所在地	電話番号	FAX 番号
八洲学園大学国際高等学校	法人所有	905-0207	沖縄県国頭郡本部町備瀬1249	0980-51-7711	0980-48-4115

2. 学生（生徒）の概要

(1) 設置課程・学科・収容定員・在籍者数一覧（令和2年3月1日現在）

設置課程	設置学科	入学定員 (人)	①収容定員 (人)	②正科生 在籍者数 (人)	③技能連携 在籍者数 (人)	④聴講生数 (人)	収容率 (%) $(②+③) \div ① \times 100$
通信制課程 (広域)	普通科	—	5000	1302	0	3	26.0

(2) 令和2年度入学者数・卒業者数・転学者数・退学者数・除籍者数予測一覧

	入学者数 (途中転編含む)	卒業者数	転学者数	退学者数	除籍者数	増加予測人数
正科生	550	350	10	7	50	30
聴講生	2					

3. 教職員関係

(1) 令和2年度管理職の概要

職名	氏名	備考
校長	中村 成希	継続
教頭	鈴木 啓之	継続
事務長	平良 亮	継続

(2) 令和2年度教職員の概要 (令和2年3月1日現在)

		合計 (人)	沖縄	横浜
教員	本務	13	12	1
	非常勤	10	10	0
職員	本務	2	2	0
	兼務	8	6	2

八洲学園大学国際高等学校の平均年齢は教員44.0才、職員43.6才である。(令和2年3月1日現在)

4. 事業の概要

(1) 事業の概要

① 主な事業の計画

年度	事項	概要	進捗状況
平成22～	高大連携の具体化	高校と大学の連携・接続を深めることで、内部進学者をいっそう増やすと共に、大学のある学園の高校として入学見当者からの魅力向上をはかる。	令和元年度は、八洲学園大学と申し合わせて大学公開講座6番組を高大連携講座に認定して特別活動対象科目とした。他方、当校で実施する予定であった大学連携プログラム「沖縄研修」が、新型コロナウイルス対策により中止となった。令和2年度は、当校生徒による高大連携講座受講の誘導と、中止された大学プログラムの再開を目指す。 学校情報紙「ゆんたく」にて、八洲学園大学国際高等学校の学生募集記事を掲載する。
令和元～	高専連携の推進	八洲学園大学国際高等学校と ESA 音楽学院専門学校との連携により、相互の学校の魅力を高め、内部進学へ導く。	ESA 音楽学院専門学校の定期演奏会を鑑賞することによる当校の特別活動認定制度を令和元年度にスタートした。令和2年度から生徒への案内を増やし、定期演奏会鑑賞および内部進学の実績作りを目指す。

平成22～	地域貢献・地域交流	<p>地域海岸の清掃ボランティア活動、地域の恒例行事となった少年サッカー大会を主催し、地域貢献・地域交流を通して学校の知名度と好感度を浸透させる。地元教育委員会及び商工会の賛同・協賛も頂いている。</p> <p>「一般社団法人ひきこもり支援相談士認定協議会 沖縄支部」に加盟し、地域のひきこもり支援者普及とスキルアップに貢献することで学校の知名度向上と入学見当者との遭遇機会向上をはかる。</p>	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス対策により大会開催を中止した。次年度については、感染予防など安全計画を充実させて、再開を目指す。</p> <p>令和元年度は、ほぼ毎月のペースで外部講師を招いて「ひきこもり支援」に関する講演会&勉強会を実施した。令和2年度も引き続き事業を実施する。</p>
平成22～	サポート校の開拓と支援	<p>小規模塾や高等専修学校などのサポート校開拓とサポート校の募集支援・連携した広報活動などの支援活動を通じて、生徒募集のチャンネル増を維持・拡大させる。</p>	<p>令和元年度は、既存のサポート校からの出願が着実に増え、入学者の確保に寄与した。</p> <p>令和2年度についても、未設置府県を中心にサポート校新規開拓を継続して行ないつつ、既存のサポート校を巡回訪問して連携のいっそうの強化を図る。</p>
平成30～	高等学校等就学支援金の制度変更への対応	<p>令和2年度より高等学校等就学支援金制度が拡充され、当校の授業料体系および補助金事前相殺施策により、ライバル校より有利な生徒募集を展開しうる状況が生まれた。</p>	<p>入学検討者への案内書類、学校WEBサイトの学費関連ページを刷新し、授業料負担が著しく軽減されることを前面に広報展開する。</p>
平成30～	次期学習指導要領への対応	<p>新学習指導要領への移行は、令和元年度より一部先行実施、令和4年度より全面移行となる。教科・科目の構成が多きく変わることから、学則改訂を含む移行体制を整える。</p>	<p>令和2年度末に、学則を改訂し新学習指導要領に対応する。</p> <p>また、現行と新学習指導要領の移行にかかる短期集中スクーリング時間割の開発を行う。</p>

平成23～	生徒の問題行動の未然防止	本校での生徒指導のあり方を見つめ直し、生徒対応の方法・学校ルールのアナウンスを再考慮して短期集中スクーリング中だけでなく自宅での問題行動の未然の防止に努める。担任と生徒指導部だけでなく、全教職員での確認や研修、マニュアル整備を通して、学校力として生徒対応に当たる。	令和2年度は、いじめ防止法改正・児童虐待防止法改正により強化された国のガイドラインを生徒指導マニュアルや教職員研修に反映させた。令和2年度は、校内巡回および予防教育の強化を行うとともに、学校情報紙「ゆんたく」にて予防教育記事を連載する。
-------	--------------	--	--

② 施設・設備の整備計画

年 度	事 項	事業規模等	事業費	財 源	実施時期	備 考
令和元～	校舎の錆び止め塗装工事	大規模	11,550,000	教育修繕費	4月～5月	令和2年度は宿舎棟の工事を行う。翌年度以降、生徒募集状況をみながら食堂棟、職員室棟の実施を予定している。(教室棟は令和元年度実施済み)
令和元～	宿舎棟、食堂棟のエアコンの更新	中規模	2,750,000	建物	4月～5月	令和2年度は宿舎1階3部屋、教室棟1教室の工事を行う、翌年度以降の生徒募集状況をみながら教室棟、宿舎1階、職員室棟の実施を予定している。
令和元～	PC、PC周辺機、印刷機などの設置	小規模	200,000	管理消耗品費	通年	不調機器の置き換えとサポートの切れる旧OS機を中心に行う。

③ 授業料変更等

年 度	事 項	概 要
令和2	計画なし	

③ 卒業者数、就業者数の見込みについて

令和2年度は、350名の卒業者数を見込んでいる。

学校把握新規就業者数は、約20名を見込んでいる。

④ 生徒の就職、進学状況について

(変更済) センター試験から共通テストへの入試制度転換を前に、大学受験とりわけ指定推薦進学者が増加しつつあり、次年度から高等教育の無償化が始まるので、進学志向はいつそう高まることが予想される。また、今年度も八洲学園大学への進学者を見込んでいる。就職については、在学中から活躍する音楽家やパフォーマー・世界的バレエダンサーを輩出している。

⑥ 教職員採用・退職計画

年 度	事 項	概 要
令和元	退職者（教職員4名、パート0名）	
令和2	教職員採用（常勤講師6名）	

5. 財務の概要

令和2年度については、広域通信制高等学校3校の沖縄県内進出への対抗からの広報強化ならびにサポート校開拓により令和2年3月現在で募集が堅調で授業料収入増が見込まれる。増収分については、計画修繕の一環として実施する宿舍棟の錆び止め塗装工事および宿舍棟・教室棟のエアコンの更新費用などに充てることを予定している。